

第2学年 国語科学習指導案

指導者 加藤 明

- 1 単元名 人物のようすや気もちに気をつけて読もう
～とう場人物になりきって、音読みきをしよう～
教材名「名前を見てちょうだい」（東京書籍2年下）

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、あまんきみこの作品の中から自分が演じてみたい作品を選び、音読劇をすることを位置付けた。音読劇は、登場人物になった気持ちで、簡単な身体の動きを加えたり、音読の仕方を工夫したりすることを通して、見ている人に様子が伝わるように演じるものである。したがって、本単元でねらう「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」（C読むこと）を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

3 単元について

(1) 児童観

児童は6月の物語文「お手紙」の学習を通して、場面の様子や登場人物の行動をつかみながら物語を読めるようになってきた。しかし、登場人物の行動や会話に着目し、場面の様子について想像を広げながら読む力はまだ付いていない。物語の内容や登場人物の気持ちを豊かに表す音読ができる児童がいる一方、工夫して音読をすることが難しい児童や、声の大きさや速さなどを自分なりに工夫するものの、相手に伝わる音読とならない児童も見られる。

(2) 教材観

本単元では、教科書教材「名前を見てちょうだい」の他に、あまんきみこの他の作品を教材として活用する。教科書教材「名前を見てちょうだい」は、場面の様子や登場人物の行動を把握しやすい物語である。場面の様子について、豊かに想像を広げながら楽しんで読むことができると考える。また、あまんきみこの多くの作品の中で、場面ごとに新しい登場人物が出てくる構成の物語をいくつか選んで並行読書で活用する。これらの作品を取り上げることは、登場人物の行動や会話に着目し、楽しんで場面の様子について想像を広げながら読むことにつながると考える。

(3) 指導観

指導に当たっては、まず第一次で、児童にあまんきみこの作品を紹介する。そして、単元の最後に音読劇発表会をすることを伝える。第二次では、「名前を見てちょうだい」を読み、お気に入りの場面について、登場人物の行動や会話に着目し、動きや読み方を考え、音読劇へとつなげていけるようにする。第三次では、第二次の学習を生かして、並行読書で読んだ作品の中から好きな作品を選び、音読劇の発表会を行う。登場人物の行動や会話に着目し、その行動や会話をどう音読するか文章に即して考えることを通して、「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む」力を付けたい。

4 単元の目標

- 物語を読み、登場人物の行動や会話に興味をもち、場面の様子を想像しながら楽しんで音読劇に取り組もうとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- 自分のお気に入りの場面の登場人物を音読劇で演じるという活動を通して、場面の様子について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読むことができる。
(読むこと)
- 文の中にある主語と述語の照応関係に注意して読むことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none">・物語を読み、登場人物の行動や会話に興味をもち、場面の様子を想像しながら楽しんで音読劇に取り組もうとしている。・目的に応じた学習計画を立てようとしたり、学習活動について目的に照らした振り返りをしたりしようとしている。	<ul style="list-style-type: none">・登場人物の行動や会話に着目し、場面の様子について想像を広げながら読んでいる。	<ul style="list-style-type: none">・文の中における主語と述語の照応関係に注意して読んでいる。

6 単元の指導計画（15時間扱い）

主な学習活動	主な評価
<p>1, 2 あまんきみこの作品にふれ、学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまんきみこの作品の読み聞かせを聞く。 ・これからの学習の見通しをもつ。 <p>※学習課題「あまんきみこの作ひんの中から、お気に入りの作ひんをえらび、とう場人物になりきって音読げきをしよう」を設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を意識して、演じてみたい場面を考えたり、学習計画を立てたりしようとしている。 (関心・意欲・態度)
<p>3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 「名前を見てちょうどいい」を読み、お気に入りの場面を選び、登場人物になりきって音読劇をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「名前を見てちょうどいい」を読み、あらすじや登場人物を整理する。 ・お気に入りの場面と登場人物の好きな行動を見つけ、好きな理由をまとめ、紹介しあう。 ・お気に入りの場面について、登場人物の行動や会話を基に、動きや読み方を考える。 ・選んだお気に入りの場面ごとにグループになり、音読劇の練習をする。 ・他のグループと見せ合い、感想を伝え合う。 <p>(本時は第8時)</p>	<p>並行読書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語を読み、登場人物の行動や会話に興味をもち、場面の様子を想像しながら楽しんで音読劇に取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度) ・登場人物の行動や会話に着目し、場面の様子について想像を広げながら読んでいく。 (読む能力)
<p>10, 11, 12, 13, 14, 15 あまんきみこの作品の中から、好きな作品を選び、お気に入りの場面について音読劇をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のお気に入りのあまんきみこの作品を選び、お気に入りの場面を見つける。 ・お気に入りの作品のあらすじ、登場人物の好きな行動、好きな理由をまとめめる。 ・お気に入りの場面について、登場人物の行動や会話を基に、動きや読み方を考える。 ・選んだお気に入りの作品ごとにグループになり、音読劇の練習をする。 ・音読劇の発表会を行い、感想を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や会話に着目し、場面の様子について想像を広げながら読んでいく。 (読む能力) ・文の中における主語と述語の照応関係に注意して読んでいる。 (言語についての知識・理解・技能)

7 本時の学習

(1) 目標

登場人物の行動や会話をもとに、音読劇を工夫して演じることを通して、お気に入りの場面について、想像を広げて読むことができる。

(2) 準備・資料

ワークシート、音読劇台本、場面絵

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>音読げきをたがいに見せ合い、お気に入りの場めんのとう場人物の行どうや会話がよくつたわるようにくふうしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 本時では、お気に入りの場面の音読劇の発表に向けて、場面の様子がよく伝わるように登場人物の行動や会話の読み方について、音読劇台本の書き込みを確認しながら、声の強弱や速さ、間の取り方等に気を付けて練習することを確認する。
<p>2 音読劇の練習をする。</p> <p>(1) 練習の仕方や場所を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習終了時刻、練習スペース、練習の仕方 <p>(2) グループごとに、お気に入りの場面について、音読劇の練習をする。</p> <p><選んだ場面></p> <ul style="list-style-type: none"> 1班……えっちゃんがぼうしをもらったところ（第1・2の場面） 2, 3班…えっちゃんがきつねと出会ったところ（第3の場面） 4, 5班…えっちゃんが牛と出会ったところ（第4の場面） 6班……えっちゃんが大男と出会ったところ（第5の場面・前半） 7班……えっちゃんがぼうしをとりもどしたところ（第5の場面・後半） <p><予想される児童の練習の様子></p> <ul style="list-style-type: none"> えっちゃんが、ぼうしをもらった時のうれしい気持ちをあらわしたい。 えっちゃんが勇気を出して、ぼうしを取り戻そうとしている気持ちをうまく出したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって活動ができるよう終了時刻と練習スペース、練習の仕方について確認する。 各グループごとに場面絵を掲示し、練習に対して意欲がわくよう、雰囲気を盛り上げるようにする。 登場人物の行動や会話の読み方や動きの付け方を記入した音読劇台本を見ながら、グループ内で聞き合って、ほめたりアドバイスしたりしながら練習を進めるよう助言する。 練習をしていて直したいところがあれば、作成した音読劇台本に書き込んでいくようにすることを伝える。 音読がなかなか難しい様子の児童がいた場合には、音読劇台本と一緒に読むなど手本を見ることにより、よく伝わる読み方ができるようにする。 音読劇を他のグループと見せ合い、音読劇台本の書き込みに基づいて互いにアドバイスをしたり、感想を伝え合ったりすることを通して、想像を広げて読むことにつながるようにしたい。
<p>3 音読劇を他のグループと見せ合い、感想を伝え合う。</p> <p>(1) アドバイスや感想を伝え合う。</p> <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> 声がだんだん大きくなっていくので、えっちゃんがだんだん大きく強くなっていく感じが伝わりました。 大男のところを風船がしぶむみたいにしたいなら、声をだんだん弱くしていった方がいいと思います。 <p>(2) アドバイスや感想を参考にして、再度練習する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>〈評価〉 音読劇を互いに見せ合い、お気に入りの場面について、登場人物の行動や会話をもとに、想像を広げながら読んでいる。</p> <p style="text-align: right;">(読む：音読劇・行動観察)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 繰り返し練習する中で、深まることは音読劇台本に書き加えるなどして、更に読み方や動きを深めていくように声かけする。
<p>4 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> えっちゃんのぼうしのもらい方を工夫して動きにあらわすことができた。 何度も練習して、大男の話し方をいばつた感じで言うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時までと比べて工夫して伝えられるようになったことが振り返りに書けた児童を賞賛することで、音読劇にさらに工夫して取り組めるように方向付けしたい。